

| | | | |
|-------------------------|--|---------|--|
| 1. 科目名 (単位数) | 労働衛生学 (4 単位) | 3. 科目番号 | SSMP3336 SNMP3336 SCMP3336 SBMP3336 |
| 2. 授業担当教員 | 橋本 由利子 | | |
| 4. 授業形態 | 講義、ディスカッション | 5. 開講学期 | 春期 |
| 6. 履修条件・他科目との関係 | 第一種衛生管理者免許の取得希望者は、本科目のほかに、生理学、健康管理学 (健康相談活動を含む)、労働法 (労働基準法)、労働安全衛生法 (じん肺法を含む) をすべて修得する必要がある。 | | |
| 7. 講義概要 | <p>労働者が安全で衛生的かつ快適に働くには、労働者を取り巻く環境をより良い状態に維持することが重要である。そのために衛生管理者は、社会情勢の変化や技術革新に伴う労働環境の変化、労働者の高齢化等に伴う心身の健康状態の変化等に柔軟に対応できなくてはならない。</p> <p>本科目では、安全衛生管理体制の確立と衛生管理者の役割、そして衛生管理の 3 本柱である「作業環境管理」、「作業管理」、「健康管理」を中心に労働衛生管理全般について学ぶ。福祉を学んだ衛生管理者が求められていることについても考察する。</p> <p>なお労働衛生学は、本学で国家資格である第 1 種衛生管理者免許を取得するために、必ず履修しなければならない科目の一つである。</p> | | |
| 8. 学習目標 | <ol style="list-style-type: none"> 我が国の労働衛生の現状について説明できるようになる。 望ましい安全衛生管理体制について説明できるようになる。 労働安全衛生マネジメントシステムやリスクアセスメントについて説明できるようになる。 一般作業環境について説明できるようになる。 有害作業環境 (物理的、化学的、生物学的) 要因とそれらによる健康障害について説明できるようになる。 作業環境管理 (作業環境測定とその管理、換気装置等) について説明できるようになる。 作業管理 (作業時間と休憩時間、労働衛生保護具等) について説明できるようになる。 健康管理 (健康診断及び健康教育等) について説明できるようになる。 職場におけるメンタルヘルス対策について説明できるようになる。 救急蘇生法について説明できるようになる。 | | |
| 9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題 | <ul style="list-style-type: none"> その日に学習したことを整理するために、毎回ワークシート (国家試験問題も含む) を提出する。 レポート課題 <ol style="list-style-type: none"> 労働安全衛生に関する新聞記事を読み、自分の考えをレポートにして発表する (1000 字程度) 事務所環境調査を行い、その結果をレポートにする (図表を含み 1600 字程度) | | |
| 10. 教科書・参考書・教材 | <p>【教科書】中央労働災害防止協会編『衛生管理 (上) <第 1 種用>』中央労働災害防止協会 (令和 8 年発行)。</p> <p>【参考書】小山 洋監修、辻 一郎・上島通浩編集『シンプル衛生公衆衛生学 2026』南江堂、2026。</p> <p>澤口彰子他『人体のしくみとはたらき』朝倉書店、2015。</p> <p>東京福祉大学編『新・社会福祉要説』ミネルヴァ書房。</p> | | |
| 11. 成績評価の規準と評定の方法 | <p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 衛生管理者の職務と役割、安全衛生管理体制、リスクアセスメントなどについて理解できているか。 作業環境による健康障害、作業環境管理、作業管理、メンタルヘルス対策、救急処置等について理解できているか。 <p>○評定方法</p> <p>[日常の授業態度、提出物等を総合して評価する]</p> <ol style="list-style-type: none"> 日常の授業態度 (参加、実践、態度) 総合点の 40% 課題レポート・期末試験など 総合点の 60% | | |
| 12. 受講生へのメッセージ | <p>国家資格である第 1 種衛生管理者と同等以上の知識を習得することを第一目標とする授業を行うので、以下の「ルール」をしっかりと守ってください。労働衛生は卒業後にどのような仕事についても、働いている限り避けては通れない学問です。自分の健康を守るためにも、またソーシャルワーカーとして支援者の健康をも守るためにもしっかりと勉強してください。</p> <p>[受講生に期待される学習態度]</p> <ol style="list-style-type: none"> 授業は常に高い緊張感と集中力をもって受講すること。学生の積極的な態度が望まれる。 授業中、授業外に進んで教師に質問すること。理解できないことをそのまま放っておかないこと。 レポートの提出期限は厳守すること。事情によって提出日に間に合わない場合は講師にそのことを文書で伝え許可をとるようにする。 授業中の私語、携帯電話の使用は絶対にしないこと。守れない場合は退室のこと。 <p>[講師は次のことを実行する]</p> <ol style="list-style-type: none"> 授業の目的、目標を明確にし、授業の進行はシラバスに沿って行う。 受講生全体に聞こえる大きさの声をするとともに専門用語はわかりやすく説明する。 授業中の居眠り、私語、携帯電話の使用については厳格に対処する。 | | |
| 13. オフィスアワー | 授業開始時にお知らせします。質問はメールでも受け付けます。p-yuhashim@ed.tokyo-fukushi.ac.jp | | |
| 14. 授業展開及び授業内容 | | | |
| 講義日程 | 授業内容 | 学習課題 | |
| 第 1 回 | シラバスの説明、働く人々の健康、労働衛生の歴史と現状 | 事前学習 | 働くことの意義について考えてくる |
| | | 事後学習 | 働くことの意義について復習し、ワークシートを提出 |
| 第 2 回 | 衛生管理者の職務と役割 (労働衛生の目的、衛生管理とは何か、衛生管理者の種類、衛生管理者の仕事) | 事前学習 | 教科書第 1 章 3 「労働衛生の現状」を読んでくる |
| | | 事後学習 | 衛生管理者の職務と役割について復習し、ワークシートを提出 |
| 第 3 回 | 衛生管理の進め方① (労働衛生に関する法律、安全衛生に関する) | 事前学習 | 教科書第 2 章 1 「トップ、ライン、スタッフの役割」を読んでくる |

| | | | |
|------|--|------|---|
| | 各職種とその役割) | 事後学習 | 衛生管理の進め方について復習し、ワークシートを提出 |
| 第4回 | 衛生管理の進め方② (安全衛生管理体制) | 事前学習 | 教科書第2章2「労働衛生管理体制の整備」を読んでくる |
| | | 事後学習 | 安全衛生管理体制について復習し、ワークシートを提出 |
| 第5回 | 衛生管理の進め方③ (労働災害のメカニズム、DVD「あなたは安全の主役です」) | 事前学習 | 教科書第2章4「労働衛生マネジメントシステムとリスクアセスメント」を読んでくる |
| | | 事後学習 | 労働災害のメカニズムについて復習しワークシートを提出 |
| 第6回 | 衛生管理の進め方④ (リスクアセスメント、KYTの演習1) | 事前学習 | 教科書第2章4「労働衛生マネジメントシステムとリスクアセスメント」を読んでくる |
| | | 事後学習 | リスクアセスメントについて復習し、ワークシートを提出 |
| 第7回 | 一般作業環境について (温熱、視環境、音環境、休養施設等) | 事前学習 | 教科書第3章2「一般作業環境」を読んでくる |
| | | 事後学習 | 一般作業環境について復習し、ワークシートを提出 |
| 第8回 | 騒音障害について (「騒音障害を防ごう～騒音防止の基礎知識」) | 事前学習 | 教科書第4章3(3)「騒音による健康障害」を読んでくる |
| | | 事後学習 | 騒音障害について復習し、ワークシートを提出 |
| 第9回 | 物理的環境要因と健康障害① (高温、低温)、DVD「熱中症について」 | 事前学習 | 教科書第4章3「物理的要因と健康障害」を読んでくる |
| | | 事後学習 | 高温・低温障害について復習し、ワークシートを提出 |
| 第10回 | 物理的環境要因と健康障害② (振動、超音波、異常気圧、放射線) | 事前学習 | 教科書第4章3「物理的要因と健康障害」を読んでくる |
| | | 事後学習 | 振動、超音波、異常気圧、放射線について復習し、ワークシートを提出 |
| 第11回 | 事務所環境と事務所衛生基準規則について | 事前学習 | 教科書第5章9「一般作業環境の改善」を読んでくる |
| | | 事後学習 | 事務所環境の測定方法と評価を復習する |
| 第12回 | 事務所環境の測定と評価(変更の可能性あり) | 事前学習 | 事務所環境の測定の準備をする |
| | | 事後学習 | 測定した結果を評価し、レポート①にまとめる |
| 第13回 | 喫煙と健康障害 (喫煙対策について) | 事前学習 | 教科書第7章8「職場における受動喫煙対策」を読んでくる |
| | | 事後学習 | 喫煙について復習し、ワークシートを提出 |
| 第14回 | 化学的環境要因と健康障害① (窒息性ガスと酸欠) | 事前学習 | 教科書第4章2(3)「酸素欠乏症」を読んでくる |
| | | 事後学習 | 窒息性ガスと酸欠について復習しワークシートを提出 |
| 第15回 | 化学的環境要因と健康障害② (有機溶剤による健康被害) | 事前学習 | 教科書第4章2(2)「有害物による健康障害」を読んでくる |
| | | 事後学習 | 有機溶剤について復習し、ワークシートを提出 |
| 第16回 | 化学的環境要因と健康障害③(特定化学物質による健康被害、有害化学物質の作業環境中の存在形態) | 事前学習 | 教科書第4章2(2)「有害物による健康障害」を読んでくる |
| | | 事後学習 | 特定化学物質について復習し、ワークシートを提出 |
| 第17回 | 作業環境管理①(作業環境測定とその管理) | 事前学習 | 教科書第5章3「作業環境測定」を読んでくる |
| | | 事後学習 | 作業環境管理について復習し、ワークシートを提出 |
| 第18回 | 作業環境管理②(全体換気装置と局所換気装置) | 事前学習 | 教科書第5章4「有害物質に係る作業環境の改善の手法」を読んでくる |
| | | 事後学習 | 換気装置について復習し、ワークシートを提出 |
| 第19回 | 化学的環境要因と健康障害④(粉じん障害とじん肺) | 事前学習 | 教科書第4章2(1)「じん肺と合併症」を読んでくる |
| | | 事後学習 | 粉じん障害について復習し、ワークシートを提出 |
| 第20回 | 作業管理①(保護具について) | 事前学習 | 教科書第6章5「労働衛生保護具」を読んでくる |
| | | 事後学習 | 保護具について復習し、ワークシートを提出 |
| 第21回 | 生物学的環境要因と健康障害⑤ (感染症、食中毒について) | 事前学習 | 教科書第4章4「生物学的要因と健康障害」を読んでくる |
| | | 事後学習 | 食中毒について復習し、ワークシートを提出 |
| 第22回 | 生物学的環境要因と健康障害⑥ (歯科保健について) | 事前学習 | 働く人にとっての歯科保健の意義について考えてくる |
| | | 事後学習 | 歯科疾患が感染症であることについて復習し、ワークシートを提出 |
| 第23回 | 作業管理②(作業時間と休憩時間、情報機器作業における作業管理) DVD「VDT作業の健康チェック」 | 事前学習 | 教科書第6章4(2)「情報機器作業」について読んでくる |
| | | 事後学習 | 情報機器作業について復習し、ワークシートを提出 |
| 第24回 | 作業管理③(腰痛予防) | 事前学習 | 教科書第6章4(1)「腰痛予防対策」を読んでくる |
| | | 事後学習 | 腰痛予防について復習し、ワークシートを提出 |
| 第25回 | 健康管理①(健康管理の意義と目的、健康診断と事後措置、適正配置) | 事前学習 | 教科書第7章「健康管理の意義と目的」を読んでくる |
| | | 事後学習 | 健康診断について復習し、ワークシートを提出する |
| 第26回 | 健康管理②(心とからだの健康づくり、職場におけるメンタルヘルス、ストレスチェックについて) | 事前学習 | 教科書第8章「心とからだの健康づくり」を読んでくる |
| | | 事後学習 | メンタルヘルス、ストレスチェックについて復習し、ワークシートを提出 |
| 第27回 | 救急処置①(一次救命処置(自動体外式除細動器(AED)も含む)) | 事前学習 | 教科書第11章「救急蘇生法」を読んでくる |
| | | 事後学習 | 一次救命処置についてまとめる |
| 第28回 | 救急処置②(衛生管理者の役割と応急手当) | 事前学習 | 教科書第11章「救急蘇生法」を読んでくる |
| | | 事後学習 | 救急処置における衛生管理者の役割についてまとめ、ワークシートを提出 |
| 第29回 | 健康管理③(心の健康づくり、積極的傾聴法、自律訓練法、DVD「こころだって風邪をひく」) | 事前学習 | 労働衛生における積極的傾聴法、自律訓練法の意義について考えてくる |
| | | 事後学習 | 積極的傾聴法、自律訓練法について復習し、ワークシートを提出 |
| 第30回 | まとめ、福祉現場の労働衛生について | 事前学習 | 福祉現場での労働衛生上の問題について、考えてくる。 |
| | | 事後学習 | 労働衛生学で学んだことを振り返る。 |
| 期末試験 | | | |